

データサイエンス実践力養成プログラムの参加募集について (大学院生向け)

数理・データサイエンス教育研究センター

数理・データサイエンス教育研究センターでは、文系・理系を問わず、様々なデータを適切に扱うことができる数理・データサイエンスに関する素養（数学、データ分析等）や、各自が習得する専門分野においてデータを扱う実践的な力を養う教育に取り組んでおります。また、データに基づくコミュニケーションにより他者との協働を可能にする展開力を有する人材育成にも取り組んでおります。

本センターでは、修士課程の学生のみならず、他の課程に属する大学院生も広く対象とし実践的な力や展開力の養成する2つの教育プログラムを提供します。

1 データサイエンス実践力養成プログラム「課題解決型 DS-PBL」

① 「課題解決型 DS-PBL」の概要

このプログラムでは、企業・地方公共団体から提供される課題や修士論文などの研究における課題において、学生がその解決や企画提案を行う PBL (Project Based Learning) 演習を行います。PBL 演習を通じて、データ解析の技法（情報科学・数学・統計学に係る話題も可）である実践的な力を養成いたします。

エントリーした学生の研究テーマ・内容・レベルを審査し、数理・データサイエンスに特化した学内の教員とマッチングさせ、個別指導を行います。プログラム終了時には、最終レポート（別添様式）を提出してもらいます。

② 実施形態

- 数理・データサイエンスを専門とする教員の紹介
- 対面もしくはオンラインでの直接指導(約1時間ずつ3回ほど行います)
- 電子メール等による指導(5回程度)
- 必要に応じて、e-Learning 教材やセミナー等の紹介
- 最終レポート(別添様式)の提出

③ 募集およびエントリーの方法

「課題解決型 DS-PBL」は、所属する課程や文理を問わず、全ての大学院生を対象にしています。希望する学生は、以下の Google フォームよりエントリーしてください。エントリー受付は令和5年8月末まで行います。エントリー期限の終了後、指導等の実施方法について案内いたします。

<https://forms.gle/bH4GEZhsYsQ5igkR8>



過去に受講した学生のテーマや感想を下記 Web ページより参照できます。

<https://www.mdsc.hokudai.ac.jp/curriculum/pbl/>

④ 必要な消耗品等の支給について

学生が当プログラムに参加するために必要な消耗品等を、学生 1 人につき 10 万円を上限として当センターの事業費で負担いたします。当該学生の指導教員を通じて必要な消耗品等をご連絡いただき、当センターで購入手続きを行います。

詳細については、エントリー審査後、個別にご案内いたします。

2 データサイエンス実践力養成プログラム「社会展開実践 DS-Design」

① 「社会展開実践 DS-Design」の概要

プレゼンテーションに関する指導を通じて、研究成果を社会に展開するための発想力や、専門分野が異なる研究開発者や市民に伝えるための展開力を習得することを目的としたプログラムです。

ワークショップやディスカッションを通じて、研究内容を他者に伝えるためのスキルやアイデアを磨き、プレゼンテーションのためのスライド資料を作成します。また、この資料を用いたプレゼンテーションの実施を予定しています。

② 指導等の実施形態

- 指導については、外部の専門家と共同開発した動画教材も使用
- プレゼンテーションの場は未定（学内関係者限定で実施することを想定）
- プレゼンテーションのアーカイブ動画は、本事業の紹介など学内外で利用予定

③ エントリー方法

「社会展開実践 DS-Design」は、「課題解決型 DS-PBL」に参加する学生の中から選ばれた学生を対象とします。「社会展開実践 DS-Design」に参加したい場合は、「課題解決型 DS-PBL」のエントリーフォームに「社会展開実践 DS-Design」への参加希望と回答してください。

(本件担当)

学務部 学務企画課大学院教育改革推進室

数理・データサイエンス教育研究センター担当 (渡辺)

011-706-2171

mdsc@academic.hokudai.ac.jp